

from the world

世界の国から

レト王国

Kingdom of Lesotho



マリーナ・マピツォ・ビザバニ氏

レト開発公社 海外投資促進部長

Ms. Marina Mapitso Bizabani

Foreign Investment Promotion Manager

Lesotho National Development Corporation
(LNDC)

首都 マセル
面積 約3.0万平方キロメートル
人口 205万人(2012年 世銀)
政体 立憲君主制
元首 レツィエ三世
言語 英語(公用語)、セント語
通貨 ロチ(複数マロチ)



穏やかな気候に恵まれた「天空の王国」

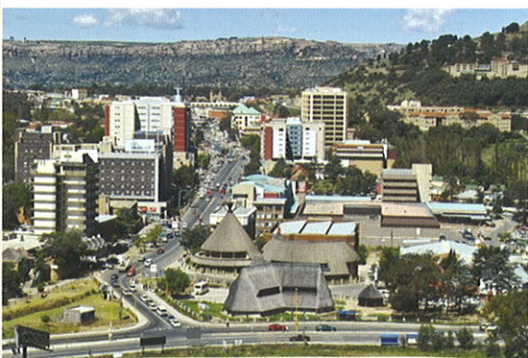
世界最南の内陸国

レトは四方を南アフリカ共和国に囲まれた世界最南の内陸国です。国土全域が標高1500メートルを超えるため、涼しく穏やかな気候に恵まれています。「アフリカのスイス」とも言われ、冬のマルチ山系ではスキーを楽しむこともできます。

レトは立地条件も良く、政治的にも安定しており、手つかずの天然資源を有するので、日本企業にとってもビジネスチャンスの宝庫であるといえます。

今回は初めての来日で、滞在中は静岡と東京でセミナーを開催したほか、数多くの企業や援助機関関係者と個別に面談を行い好感触を得ました。また、複数の企業の工場等を見学し、技術力の高さに感銘を受けました。静岡のトマト農園では、6000平方メートルほどの土地でのハウス栽培の様子を見学しましたが、少ない量の水や土で、品質の良い作物を栽培する技術をレトにも導入したいと強く感じました。

首都マセル (写真提供: レト王国大使館)



魅力的な投資環境

政府が特に誘致に力を入れている分野として、農業、再生可能エネルギー、インフラ、製造業、IT産業、鉱業等が挙げられます。また、水資源や水力発電による電力を南アフリカに供給するための河川開発事業である「レト・ハイランド・ウォータープロジェクト」は、建設業を始めとする経済を牽引しています。このプロジェクトは現在フェーズ2に入っており、電力輸出を本格化するため大型のポリハイドラムを建設することになっています。

レト国民は温厚で親しみやすく、おもてなしの心を持つ国民性です。識字率が90%を超え英語が公用語として通じるため、コミュニケーション面でも心配はありません。手先の器用さにも定評があり、規律正しく勤勉な労働力が豊富です。

5000万人規模となる南部アフリカ関税同盟(SACU)市場、欧州連合(EU)市場等へのアクセスも可能です。日本に対しては、特別特惠関税制度により、ほとんど全ての農水産品・鉱工業産品に対して、一律無税(Duty-free)・無枠(Quota-free)の優遇措置が供与されるなど、投資しやすい環境が整っています。

日本とのビジネスに期待

レト開発公社(LNDC)は、投資に関するワンストップサービスを提供するとと



レト国内の衣料品工場 (写真提供: レト開発公社)

もに、国内6カ所の工業団地を運営しています。これらの工業用地では電気・通信・上下水道が整備されており、リース料も低い水準となっています。

これまでのところ、日本との関係はODAが中心で、日本企業による投資はほとんどありませんが、今後は両国間で緊密な関係を構築し、農業、自動車部品、排水リサイクル、再生可能エネルギー等の分野で日本の技術力を活かした投資をして頂きたいと考えています。

すでにレトから養殖サーモントラウトの輸入実績がある日本企業が輸入量を倍増する計画をしており、近くレトを訪問する予定なので、帰国後はこのような企業に対するフォローアップも強化したいと思っています。

レトは南アフリカの主要拠点すべてと空路・陸路で繋がっており、南アフリカ市場をターゲットとしている企業にとっては、投資の入り口として最適だと思います。是非、レトへの投資を検討してみてください。